

世界の新しい秩序

【訳者注】いくつかの点をつなぎ合わせることによって1つの絵を浮かびあがらせようとする、この論文の試みは、そもそも本欄が取っている方法である。逆に言えば、このアプローチを取ることによって、一見つながりをもたないようなものがつながってくる。そしてその奥にあるものの正体が見えてくる。メディアとメディアのような観点しかもたない人は、奥にあるものを突き止めようとしないから、起っている現象の意味がわからず、“ケムトレイル”のように、事実そのものさえ見えない（ふりをする）ことがある。

最初のパラグラフにある「生き方やより高い意識の追及」を妨害されながら、我々は気づかないでいるという指摘は最も根本的なもので、この洞察がなければ、この異常な世界を理解できないだろう。

なお最近、有難いことに多くのビデオが、自動的に音声文字を置き換え、字幕が出せるようになっているので、(筆者を含めて) 英語がなかなか聞き取れない人は、画面を止めながらゆっくりフォローされるとよいと思う。

June 19, 2015, GeoengineeringWatch

Source: *Activist Post*, article by Catherine J. Frompovich

<http://www.activistpost.com/2015/06/the-worlds-new-order.html>



この論文は形式が普通のものとはかなり異なっている。ここには私のコメント以上に多くのビデオが含まれているが、それは1つの提出論文で書ける以上の内容をまとめて表現しようとしたためである。そのすべてを貫いているテーマは、いかに人間があらゆるレベルで、生き方やより高い意識の追及といった、人生のほとんどあらゆる相で、知らず知らずのうち

に、支配されているかを劇的に示すことである。

私の試みようとしていることは、いくつかの点と点をつなぎ合わせて並べてみると、私や他の多くの人々が“ファシズム”といているものが何であるか、その本質を考えるヒントになるのではないかということである。

最初にあげるのに最もふさわしいのは、TPP（環太平洋経済協定）である。

TPP——あなたが聞かされていないこと

https://youtu.be/KnyPsKw_gak

読者にお尋ねしたいが、あなたは、600ほどの団体の代表は TPP 協定を読むことができるが、最も大きな影響を受ける一般大衆は、そこに何が書いてあるのか分からない、いう状況を想像できるだろうか？ 議会でさえそれは分からないのだ！ ワオ！ それは“オバマ・ケア”として通った、あの法案に似たペテンのように響かないだろうか？

<https://youtu.be/hV-05TLiiLU>

この種の BSing（故意に煙に巻くこと）はやめなければならない！

Jade Helm 15: 現在、米 10 州が米軍の大演習に巻き込まれている

<http://www.truthandaction.org/operation-jade-helm-massive-military-drill-across-7-states-unconventional-warfare/8/>

サイト“Truth and Action”の JH15 に関する報告は、大きさ、規模、ビデオにおいてマンモス級である。読者は、アメリカ全土を移動する装甲車などのビデオを、次々に見るであろう。しかしこれは何のためだろう？ 米軍は米 10 州で、誰と戦争しようとしているのだろうか？ UN のマークの入った車両を含め、これだけの装備と兵員がアメリカ全土を移動しているのを見れば、どんな疑い深い人でも間違いなく、“新世界秩序”の統制が明らかにアメリカにやって来ていることに気づくだろう！

読者は FEMA 収容所のことをご存じだろうか？

<https://youtu.be/RxIoMWS2B0g>

FEMA 収容所の更なる州ごとの情報については、[ここ](#)をご覧ください。

http://www.kickthemallout.com/article.php/story-fema_camps_executive_orders

強制的なワクチン接種法が、個人と子供たちの肉体の尊厳に逆らって施行されている（カリフォルニアでは法令 SB277 号）。

<https://youtu.be/pgr3NAhXl88>

やっとなり難いことに、アフリカ系米人たちは、医学実験を含めて、自分たちに何が起ったのか、何が起りつつあるのかに目覚めつつある（例、Tuskegee 梅毒）。そして彼らは行動を起こしている！

次のビデオ・ニュース（WHDT）は、アフリカ系米人共同体が、CDC/FDA とワクチンについて、どうしてこれだけ怒っているのかを報じている。

<https://youtu.be/oPTxDzsVvyY>

CDC（米疾病予防管理センター）と医薬業界との癒着

<http://www.bmj.com/content/350/bmj.h2362>

「英医療ジャーナル」（BMJ）は説得力ある論文を發表し、米 CDC が業界から資金を受け取ったことを明らかにしたが、これは BMJ ジャーナリストの Jeanne Lenzer が、CDC の悪名高い声明——「CDC、我々の計画担当者、それに我々の内容専門家は、商業製品業者との、いかなる金銭的な利害関係も、他の関係もないことを明らかにしたい・・・CDC は業界の支援は受けない」——の背後にある実態を調べた結果、明らかになったものである。

Lenzer によれば、「このセンターの断り書きにもかかわらず、CDC は間違いなく、業界から数百万ドルの贈り物や資金を直接・間接的に受けており、いくつかの最近の CDC の行動や推薦行為は、それが引証する科学、それが推奨する医療ガイドライン、それが受け取っている金銭などについて、いくつかの疑問を引き起こしている。」

<http://www.bmj.com/content/350/bmj.h2362>

更にワシントン・ポスト紙によれば、「医薬品会社（複数）はカネを払って、FDA（米食品医薬品局）に勧告するパネル会議に出席していたことが、eメールから明らかになった。」

http://www.washingtonpost.com/business/economy/pharmaceutical-firms-paid-to-attend-meetings-of-panel-that-advises-fda-e-mails-show/2013/10/06/a02a2548-2b80-11e3-b139-029811dbb57f_story.html?hpid=z1

ここから、絶対にあってはならない、企業から政府機関への**巨大な**影響力の存在が、明らかになる。

GMO 食品とその諸問題—— 1 枚の写真は何千の言葉に値する



科学に携わるあらゆる人々が問うべき質問がある——「Seralini 博士の研究で使われたのは、モンサント社が GMO 食品の安全を証明するために使ったのと同じ血統のラットではなかったか？ セラリーニの研究は 2 年も続けられたのに、モンサントの研究はたった 3 カ月だった！」

以前は GMO 作物を栽培していたが、今は有機農法コンサルタントに転じた Jerry Rosman は、FDA は GMO に関心をもっていないと主張している！

<https://youtu.be/eilDbdLAyFs>

我々の呼吸する空気に何が起ったのか？

頭上の空を見上げて可視的な手がかり得よう。それは気象操作と呼ばれている。ここにそのいくつかのビデオがある。

https://youtu.be/rOYA54k_8e0

次の論文は、気象操作についてもっと詳しく説明するかもしれない。

http://www.geoengineeringwatch.org/geoengineering-record-low-arctic-ice-and-catastrophic-drought-whats-the-connection/?inf_contact_key=315a0690fed657c6051ba58cf6106449fdfe9ddc4734f5616365d5f2f3b5fc17

よく飛行機を利用する人なら、“気中毒物症候群” (aerotoxic syndrome) について私よりよく知っているであろう。このビデオ “Climate Engineering Contamination and Aerotoxic Syndrome” をご覧いただきたい。

http://www.geoengineeringwatch.org/climate-engineering-contamination-and-aerotoxic-syndrome/?inf_contact_key=44a01d9892ed19ded9d6c11afb1d353b9b5ccee3cf6a64105e19ef3512bb7698

The Trends 誌の Gerald Celente は、いま地球的に何が起きているかについて、過去 30 年で誰よりも包括的に説明していると私は考える。彼ほどの洞察、情熱、“臨場感” をもって説明する者は少ないと考えるが、どうだろう。

<https://youtu.be/c8AygUIxHBk>

未来にはマイクロチップ (RFID) が普及するだろうか？

<http://www.foxnews.com/tech/2014/08/30/is-there-microchip-implant-in-your-future/?intcmp=latestnews>

人間は将来、と殺の順番を待つ家畜のように扱われるのだろうか？ それが究極の新 (世界) 秩序だろうか？

読者は、[Deagel.com](http://deagel.com/) に掲載されている 2025 年地球人口削減計画をご存じだろうか？

<http://deagel.com/>

このビデオは、誰にも想像できないことを教えてくれるかもしれない。

<https://youtu.be/w3GkYdZpc30>

読者は代替メディアの検閲が進行中であるのをご存知だろうか？

次のビデオを見れば、検閲がアメリカで生きて活動しているのがわかるだろう。私のコンピューターも危険にさらされ、ファイルが行方不明になったり、私が投稿しファイルを探す ActivistPost.com にアクセスしようとする、**Norton Security Program** が私のパソコンをフリーズさせたりする——これを言う必要はあるだろうか？

https://youtu.be/coQhL_310oY

誰が悪いのか？

ではいったいなぜ、神と自然に与えられた尊厳をもつ我々人間が、“ビッグブラザー”の政府によって占領されているのだろうか？ 集団としての我々に責任があるということだろうか？ もしかして、こうした失態をまるで聖書にある疫病のように自ら招き寄せているのだとしたら、どうしてこんなコメントをする資格があるだろうか？

このビデオ [“The Zombification of the Planet”](#) は、ある程度の説明をしてくれるが、こちらはエリートと支配者の戦略的集会の秘密について踏み込んで説明している。

<http://nonalignedmedia.com/2015/06/the-zombification-of-the-planet/>

<http://rt.com/news/266947-bilderberg-police-protests-journalists/>

しかしその点から言えば、あらゆる方面のエリートが一場に会して秘密の集会を行う、北カリフォルニアの「ボヘミアの森」に匹敵するものはない。このビデオには、いくつかの「ボヘミアの森」の秘儀の道具立てを示されている。かつての「ボヘミアの森」参加者には、米大統領になる前の政治家が含まれていた！ 私の論文 [“Presidential Candidates’ Apparent Vetting Process”](#) (大統領候補者の明らかな審査過程) を読んでいただければ、いわゆるエリート仲間には、いかに明らかに資格のない者が多いかが理解できるであろう。

[http://www.disclose.tv/action/viewvideo/109590/New Footage from Deep Inside Bohemian Grove 2012/](http://www.disclose.tv/action/viewvideo/109590/New_Footage_from_Deep_Inside_Bohemian_Grove_2012/)

<http://www.activistpost.com/2012/12/presidential-candidates-apparent.html>

年中行事になっている、そのキャンプのイベントの一つは、“苦勞の火葬”と呼ばれている。ここに、InfoWars (アレックス・ジョーンズ) によって撮影された、ドルイド教の儀式のような現実の野外儀式のビデオがある。彼らは本当に、生贄を捧げることによって“ボヘミアの梟 (ミミズク)” に忠誠を誓っているのだろうか？

<https://youtu.be/r5dHhvpHIjM>

あなたは、このような儀式に参加している、あなたの政府のメンバー、あるいは企業のエリートをどう思われるだろうか？ これらの儀式は、魔法や黒魔術に比較できるものなのか、あるいは一部の人たちが考えるように、これはサタン崇拝で、本当に忌まわしい“宗教”なのだろうか？

さらに言えば、この儀式に参加する人々（女人禁制）は、いかに生きるかを我々に命令し、戦争を推進して、我々の配偶者、親族、子供、友人を送り出して戦わせ、“一世界政府”のために、絶えず条約や法律を作っている、あの同じ sickos（精神病的信者）なのだろうか？

アメリカ市民は、今起こっていることに目を開き、市民精神に目覚める必要がある。この精神を学校で、もはや教えていないのはなぜかを考えるべきである。

この点と点をつなぐ概観の最後に、私は少し気分を明るくするために、この賢明なシンガー・ソングライターのビデオを共有して、「もしも私の鼻からカネが流れ出たら・・・」というウィットナ歌を聞いていただきたい。

<https://youtu.be/egCeIwiIuZM>

アメリカと、今は抑圧されているが、アメリカがそのために存在するはずだったすべてに、神の祝福があらんことを。

（キャサリン・J・フロムポヴィッチは、退職した自然栄養学者で、栄養学とホリスティック・ヘルス・サイエンスの上級学位を獲得し、**Orthomolecular Theory and Practice** および **Paralegal Studies** の資格をもっている。彼女の研究は 1980 年代初期以後、各種雑誌に広く発表されている。医療問題について多くの著書があり、医者、看護師、ホリスティック・ヘルスケア専門家たちと共著の論文が多い。彼女は 35 年間、消費者ヘルスケア研究者であり指導的立場にある。 <http://www.catherinejfrompovich.com/>)